

日本共産党

あきば繁の議会報告

2016年10月
 No. 22
 発行者
 古河市議員
 あきば繁
 茶屋新田71-4
 TEL (48) 2139
 あきば繁の
 ホームページ
<http://akiba.iza.yoi.net>

古河市議会 第3回定例会

平成28年度第3回定例会は、9月1日～16日の日程で開かれました。初日に、人権擁護委員の推薦、平成27年度一般会計継続経費精算の報告、一般財団の決算・事業計画など16件の報告に対する質疑等が行われました。

議案は、条例の制定・一部改正が3件、その他一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）処理業務の事務の委託、市道の路線廃止及び認定、平成28年度一般会計の補正（第2号）と平成28年度国民建國保険特別会計及び、水道事業特別会計など10の特別会計が各常任委員会に付託審議されました。

平成27年度各会計の決算認定は、一般会計決算特別委員会と特別会計・企業会計決算特別委員会に付託・審議されました。

歳入509,9億円、歳出490,9億円 子育て、教育支援など積極面は評価し 高い国保、開発などあり反対しました。

平成27年度歳入・歳出 決算の主な内容

平成27年度一般会計特別委員会は、8日9日と2日間の審議、特別会計・企業会計特別委員会は、12日に開催されました。

一般会計決算の 実質収支は 14億円の黒字

歳入は、当初予算498億3千万円に対し、7回の補正で524億9千万円（繰越明許8億2千万円含む）で5.3%増でした。

平成27年度の決算は、歳入で509億9千万円、歳出は、490億9千万円

歳入は、当初予算498億3千万円に対し、7回の補正で524億9千万円（繰越明許8億2千万円含む）で5.3%増でした。

平成27年度の決算は、歳入で509億9千万円、歳出は、490億9千万円

億9千万円の増です。また、国支出金は微増。県支出金は、対前年1億5千万円（5.1%増）で、子育て支援や市町村づくり支援事業補助金です。

市債は、対前年比24億7千万円（33.6%）の減、小学校空調設備、中学校耐震化、青少年ホーム代替施設建設の借入額が増加したが、学校給食センターや古河第1小学校改築にかかる借入学の減少分が大きく、全体として減少しています。

歳出決算の 主な内容

総務費は、対前年度比5千万円の減。民生費は、子育て支

援で対前年度比17億7千万円（9.8%）増。商工費は、スーパープレミアム商品券で対前年度比3億2千万円（73.8%）増。土木費は、道路新設・改良などが増加したが、その他事業の減で3億8千万円の減。消防費は、防災行政無線維持管理費等で6千万円増。教育費は、学校給食センターの終了で18億4千万円の減です。

これでいいのか？ 共産党議員の いない特別委員会 ほとんど質疑なし

特別会計・企業会計決算特別委員会は、13日開催されましたが、ほとんどの委員が質疑せず、異議なしの連続。委員長の「質疑ございませんか。」「質疑なしと認め：これで質疑を終わります。」が繰り返されました。

議案に 対する討論

以下、各会計に対するあきば繁議員の主な討論の内容を紹介します。（主なもの）

【国民健康保険】
 被保険者数が、減少し60歳以上が約半分の状況です。所得階層は、79%が200万円未満、52%が100万円未満です。

滞納者数が5,268人約12%となっています。低所得者に対する保険料軽減措置は、課税限度額の引き上げだけで、高い保険料の引き下げは切実です。

国と市に負担の増額を求めてこの会計の認定に反対しました。

【介護保険】

現在、6期計画の途中ですが、政府は、要支援1・2を保険から外し、市町村の「総合事業」に移行する。特養ホーム入所も介護度3以上として、要介護1・2を介護保険から閉め出す方向です。

夫婦の合計所得160万円、年金収入280万円以上は利用料を2割にする。非課税世帯でも配偶者が住民税課税の場合、預貯金の額により、「介護保険施設利用料」「ショー」トステイの食事

代「部屋代」の助成を打ち切るなどしています。今後、2025年をメドに単身や重度の要介護者を地域ごと、市町村の事業に押しつける仕組みが進められています。

古河市の「地域包括ケアシステム」は、要員配置が、保健師その他これに準ずるもの1名、社会福祉士これに準ずるもの1名、専門介護支援員その他これに準ずるもの1名となっています。

これでは合併による広域化と高齢化が進むなかで対応できません。せめて各センターごとに保健師2名、看護師2名、社会福祉士2名、主任介護支援員4名とすべきです。

「今後、民間委託」の方向を明記しており、形だけで丸投げは無責任です。今後、介護保険料の「財源」で行う「総合事業」も認められないので反対しました。

